# 施策評価シート

### 1 総合計画上の位置づけ

施策名	31 都市計画・土地利用	
政策名	快適な「暮らし」を造る	
施策がめざす 将来の姿	・市街地中心部ににぎわいがあり、適切な土地利用がす。	進むことで住みやすいまちになっていま 

### ③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標			
居住誘導区域への 転入人口	人	518		595		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8	年度	令和9年度
	600	585				

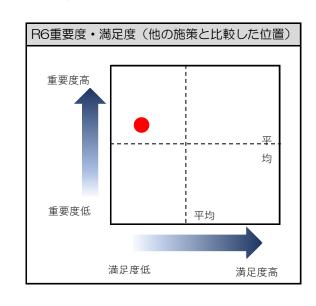
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標			
市街地中心部への 来訪者数/月	人	151,104	196	6,000		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8	3年度	令和9年度
	148,634	144,322			/	

## 3 施策の重要度と満足度(市民アンケート調査結果)

重要度/単位(人)
令和6年度
273

満足度(満足している市民の割合)/単位(%)							
令和5年度		令和6年度					
82.3	7	74.2					

※増減(→)の基準は3ポイント以上とする



担当課: 都市計画課

### 4 施策の課題と今後の方針

(施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。)

立地適正化計画、都市再生整備計画に基づき、居住誘導施策に取り組んでいるが人口減少の流れに変化はなく、市街地中心部においても厳しい状況が続いています。都市構造再編集中支援事業により遊歩道整備を進めていますが、土地の価格や商圏としての評価に変動はありません。令和7年度は、整備計画に基づく遊歩道整備を確実に進めるとともに、ソフト事業として「セキ日和」などのにぎわい創出事業を展開し、中心市街地での人材育成、まちづくりを進めます。また、本町通り商店街のウォーカブルなまちづくりに向けた取組として、道路空間再編を目指した生活社会実験の実施や、「中心市街地活性化エリア計画」に基づく、空き店舗・空き地・リノベーション可能な物件等の活性化プランを実現可能なものとするため、都市再生推進法人の指定を検討します。

### 5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

(右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。)

事務事業①:まちづくり計画事業

R6決算額 重点化(縮小)する細事業		方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
(千円)	(主なもの2事業まで)	事業費	成果	争物争未のブ後の月回住	里川山
85,132	都市再生整備計画事業	1	1	R7年度までの事業計画を着実に遂行し、まちなかをめぐる ルートを整備して、中心部のにぎわい創出を目指します。	)
80,132					)

#### 事務事業②:本町BASE運営事業

R6決算額 重点化(縮小)する細事業		方向性		- 事務事業の今後の方向性 - 事務事業の今後の方向性	重点化
(千円)	(主なもの2事業まで)	事業費	成果	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	里川儿
3,036	にぎわい横丁(本町 BASE) 運営事業	完了	完了	R6年度に市内の創業支援施設として、商工課に移管しました。	•

事務事業③:古民家運営事業

R6決算額 重点化(縮小)する細事業		方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
(千円)	(千円) (主なもの2事業まで)		成果	尹仂尹未のフ俊の月刊は	
8,257	古民家運営事業	<b>→</b>	1	R7年度から指定管理者による管理運営に移行しました。指 定管理者と調整を行いつつ、ミーティングスペースなどの活発	
				な利用を促進していきます。	